

産学活性化

テクノセミナー



1 / 19(木)

セミナー：15時

交流会：17時～(6千円)

会場：北秋くらぶ(大館市 幸町15-6)

●研究者発表

『C A E 技術を用いた最適構造設計とその応用』

秋田大学大学院理工研究科

教授 渋谷 嗣 様

●県内企業との産学連携事業について

『超音波霧化技術を活用した事業化への取組み』

小林無線工業株式会社電子デバイス課

江藤 真人 様

『ドローン開発の現状と今後の方向性』

東光鉄工株式会社U A V 事業部

シニアマネージャー 鳥潟 與明 様

C A E (Computer Aided Engineering) はコンピューターを利用し、より優れた製品開発を行うための支援技術である。C A E を用いると、構造の応力解析、振動解析、熱流体解析や電磁場解析などの幅広いシミュレーションが可能である。

本セミナーは、構造の軽量化、応力低減、動的特性の向上を目指して、C A E 技術を活用したトポロジー最適化、形状最適化技術について説明し、これまで、産学官連携で開発してきた高速・高精度位置決め装置の設計におけるC A E 技術の応用事例について紹介する。

◎主催：秋田県北部テクノプラザ・国立大学法人秋田大学産学連携推進機構

申込締切
1/13(金)